

水産の窓

沖合域に北方から冷水が流入し、暖水傾向から冷水傾向へ変化
(平成23年1月の海況と今後の予測)

22年-No.
平成23年1月18日
茨城県水産試験場

1. 本県周辺海域の概況(1/15現在)

- ・今月の海況の概要は図1のとおりです。
- ・海面水温は9℃台の冷水が塩屋埼沖120マイル沖まで南下しています。また、本県海域は前月に17~18℃台の暖水が覆っていましたが、今月に入り北方からの12℃台の冷水が急激に流入して海況が大きく変化しています。
- ・黒潮の流型はN型で、犬吠埼の南東35マイル付近を東北東方向へ流去しています。

2. 海洋観測結果(1/5~1/14:いばらき丸)

- ・水温を図2~図5に、水温前月差を図6~図7に、平年偏差を図8~図9に、塩分濃度を図10に示しました。
- ・会瀬から鹿島沖では海面から水深150m付近まで一様な水温が広く見られました(図11, 12)。
- ・水温を前月と比べると、表層域を中心に著しく降温しました(図13)。また、平年と比べると、大洗の沿岸域を中心に前月の暖水が残っていたことから「平年並み~高め」になりました(ただし、観測後に冷水の勢力が増したため、1/15現在では「高め」ではなくなったと考えられます)。その沖合域は気温の低下や北方からの冷水流入で「低め~平年並み」になりました(図14, 15)。
- ・沿岸域の塩分濃度は34.0PSU前後が広く分布しました(図16)。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮の流路は、蛇行部が東進して犬吠埼の東の海域に抜けるでしょう。流型はB型流路に変化するでしょう。
- ・黒潮の流路変動は小さく推移し、沿岸域への黒潮系暖水の波及は弱いでしょう。
- ・北方からの冷水波及は今後も続くでしょう。
- ・水温を平年と比べると、概ね「低め~平年並み」推移するでしょう。

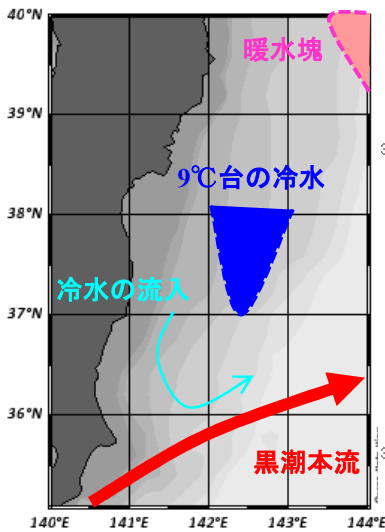


図1 海況の概要

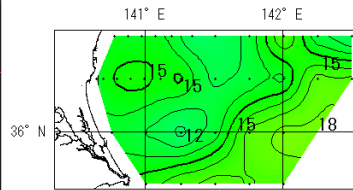


図2 海面水温(°C)

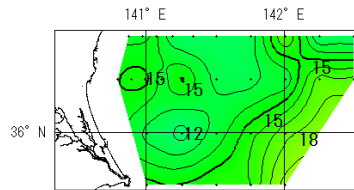


図3 50m深水温(°C)

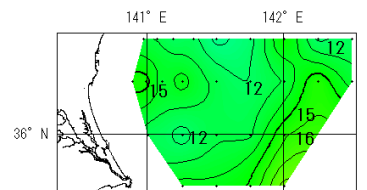


図4 100m深水温(°C)

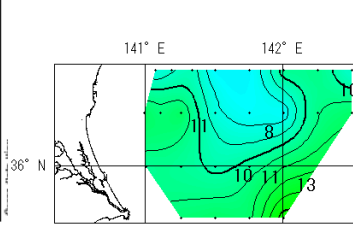


図5 200m深水温(°C)

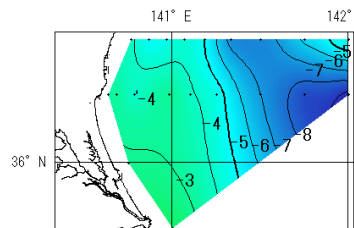


図6 海面水温前月差(°C)

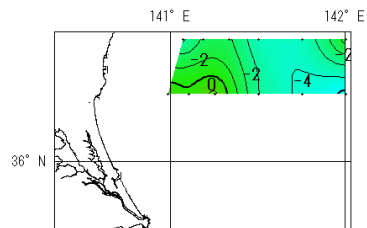


図7 100m深水温前月差(°C)

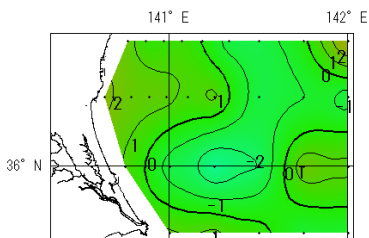


図8 海面水温偏差(°C)

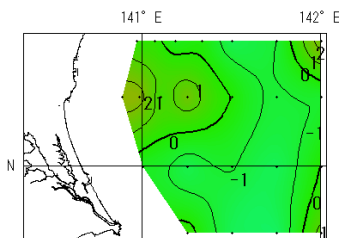


図9 100m深水温偏差(°C)

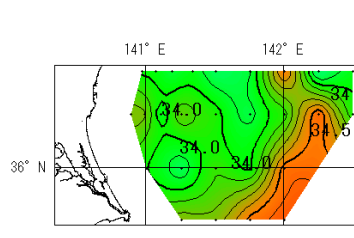


図10 100m深塩分(PSU)

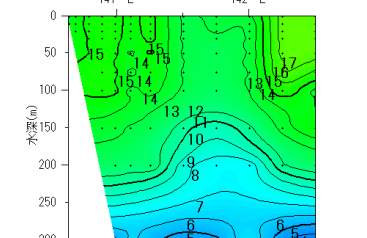


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

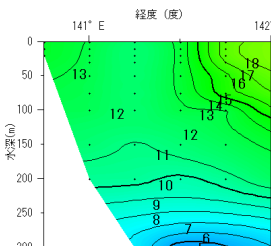


図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

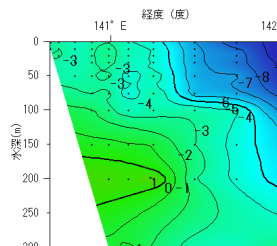


図13 大洗沖鉛直水温前月差(°C)

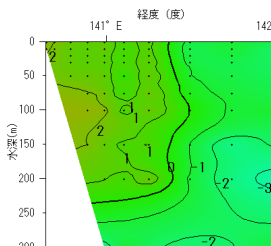


図14 大洗沖鉛直水温偏差(°C)

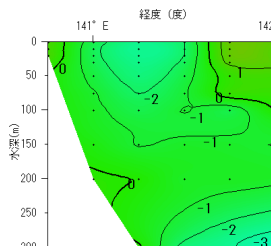


図15 鹿島沖鉛直水温偏差(°C)

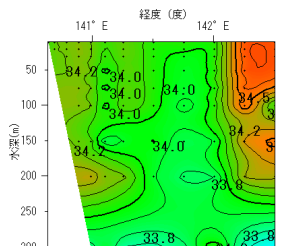


図16 大洗沖鉛直塩分(PSU)